

事務事業名		健康教育事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	04: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目						
	施策名	17: 生涯にわたる健康づくりの推進										
	基本事業名	01: 保健・予防活動の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S57 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	04	01	01	13		
根拠法令		健康増進法										
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター										
	係名	保健指導係	電話	0192-27-3111	内線	437						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、医師、歯科医師、薬剤師、健康運動指導士等の派遣講師と保健師、栄養士などが健康教育を実施し、疾病の予防知識の普及と健康づくりを推進する。 主な業務は、健康教育の実施で、それに関わることとして①講師を依頼する際の連絡調整、②対象者への通知、③会場設定 事業費は、講師への謝金、教育教材等購入費、専門機関への委託料などに支出される。平成23年度は東日本大震災の影響で、健康教室(東日本大震災復興計画健康サポート事業)の実施は年度後半となり、平成22年度よりかなり規模を縮小して実施した。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金				
							財源内訳	都道府県支出金				
								地方債				
								その他				
								一般財源				
						事業費計(A)					0	
						人件費	正規職員従事人数					
							延べ業務時間					
							人件費計(B)				0	
							トータルコスト(A)+(B)				0	

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 東日本大震災復興計画に基づき、健康サポート事業として健康教室を実施。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 通常の健康教室に加えて、東日本大震災復興計画に基づき、健康サポート事業を継続して実施予定。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 開催回数 回 イ 参加者数 人 ウ	
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民(概ね40歳以上64歳以下)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 一般市民(40歳以上64歳以下) 人 キ ク
	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 長い避難所での生活や仮設住宅での慣れない暮らしなどの影響で、食事や運動などの生活習慣が乱れていると調査の結果で明らかになったことから、健康教室に参加してもらうことにより生活習慣の見直しを図り、自身及び家族の健康に気をつけてもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 意識的に運動している者の割合 % シ 食事に気を付けている者の割合 % ス たばこを吸わない者の割合 %
	④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 生活習慣を見直し、自身及び家族に必要な生活改善を行うことができる。	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0				
		都道府県支出金	千円	181	504	504	504	504
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	91	253	253	253	253
	事業費計(A)		千円	272	757	757	757	757
	人件費	正規職員従事人数	人	9	9	9	9	9
		延べ業務時間	時間	460	800	800	800	800
		人件費計(B)	千円	1,840	3,200	3,200	3,200	3,200
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,112	3,957	3,957	3,957	3,957
⑤活動指標	ア	回	23	170	170	170	170	
	イ	人	129	2,100	2,100	2,100	2,100	
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	69	1,470	1,470	1,470	1,470	
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	%	26.6	50.0	50.0	50.0	50.0	
	シ	%	47.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
	ス	%	61.7	70.0	70.0	70.0	70.0	

事務事業ID	0279	事務事業名	健康教育事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	老人保健法に基づいて行ってきたが、平成20年度からは健康増進法に基づいて行われている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成18年度から、65歳以上の者については、介護保険法に基づく介護保険給付や介護予防事業により、介護予防に資する事業が実施されることから、健康教育は40歳から64歳までの者を対象とするとされた。しかし、40～64歳までを対象にした場合、参加者が非常に少ない。「高齢者の医療の確保に関する法律施行令」平成19年10月19日(政令第318号)公布により、平成20年度から市で実施する特定健診は、40歳から74歳の大船渡市国民健康保険加入者となった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	各地区及び地域単位で週1回ペースで運動の教室を実施してほしいとの希望あり。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市民が安心して幸せに暮らすには、健康であることが最も重要なことである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民の健康づくりの推進のため、当市で実施すべきものと考えられる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 23年度は対象年齢を概ね40歳以上とし、上限は設けなかったが、教室の目的によって、ある程度の年齢制限は必要である。しかし、40歳～64歳までを対象とした場合、対象者が一桁のことが多い。そのため、特定健診及び特定保健指導の対象となる40～74歳まで、対象の幅を広げることも考えていく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 仮設住宅集会所や各地区公民館で実施したが、参加者が少ない状況だった。生活基盤が安定していないことも影響しているのではないかと考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止、休止することで、市民の健康に対する関心がさらに薄れる可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 栄養士が仮設住宅等で実施した食生活改善料理講習会の参加者が多かったことから、今後は栄養部門と連携して事業を実施する。また、検診等での待ち時間を利用して健康教室を実施すれば、より多くの市民に生活習慣病予防に
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最低限で事業を展開している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 業務量に見合った人員配置となっている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 健康教室、講演会等の案内は、広報や仮設住宅へのチラシ配布等で広く知れ渡るよう配慮したが、参加者は少ない。休日や夜の教室も開催したことはあるが、参加者増にはつながらない。広報で広く周知はしているものの、広報は見ないという方もおり、周知方法にも工夫が必要と思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>震災前から特定健診受診率や特定保健指導受講率は低い、東日本大震災のため、生活を立て直すことが最優先となっているなかでどう効果的に健康教育を実施し、市民の健康意識の向上につなげるかが今後の課題となってくる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>目的や対象を同じとした事業を栄養・保健部門で整理し、統合して実施することにより、成果の向上を見込める。また、目的に応じて年齢制限を設けることにより、効果的に指導を実施できると考えられる。平成23年度は東日本大震災のため、規模を縮小して事業を実施したが、次年度からは通常通り事業を実施する予定であるため、コストは増加することになる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>市民のニーズ把握、参加しやすい環境づくり、参加意欲がわく内容、周知方法など、あらゆる面での改善が必要。各地区公民館や地域公民館単位で頻回に運動の教室を実施してほしいとの声もあるが、参加者の身体面を考慮して運動を実施できる指導者はいるものの、予算の都合上、頻回には依頼できないこと、頻回な健康教室の実施は保健師や栄養士のマンパワー不足により無理なことから、現状でできる範囲で最大限の効果がある方法を考えていかなければならない。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健介護センター所長	
-------	------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>市民の健康保持・推進のため重要な事業であり、実施方法を工夫する必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>実施方法の検討し、受講者の拡大を図る必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持																					
	低下																					

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
